

## 第4章 重点プロジェクト

- 1 重点プロジェクトの考え方
- 2 各重点プロジェクトの概要

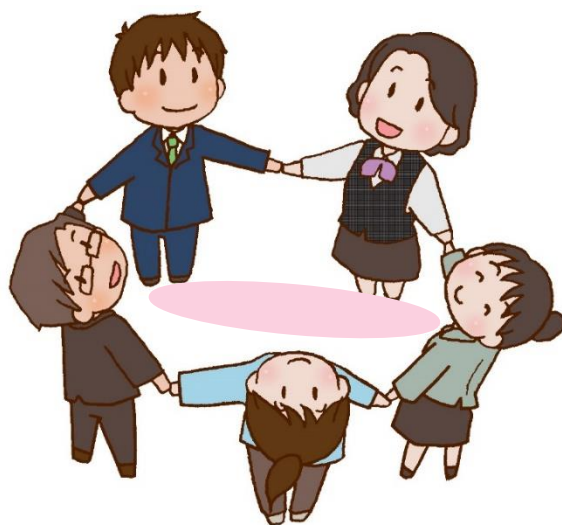
# 1 重点プロジェクトの考え方

第3章に掲げた本計画の目指すべき環境像の実現には、5つの基本目標ごとに整理した施策の展開による直接的な効果だけでなく、本市の課題、社会動向等を踏まえて、早期に着手することが求められる事業や分野横断的な事業展開により、本市の複数課題を同時解決に導くことができる事業が求められています。

ここでは、そういった視点から3つのプロジェクトについて、目的や事業展開の可能性を整理し、多様な主体の協働によるまちづくりにつなげるため、重点プロジェクトとして計画的に実施していきます。

## 3つの重点プロジェクト

- 防災・減災につながる脱炭素のまちづくり
- 食品ロスもったいない行動
- さかど生きもの大調査



## 2 各重点プロジェクトの概要

### 2-1 防災・減災につながる脱炭素のまちづくり

#### ○ プロジェクトの目的

2050年までの脱炭素社会の実現に向けて設定された削減目標の達成には、従来の省エネルギー行動、再生可能エネルギーの普及等による地球温暖化対策の更なる推進が欠かせません。

また一方では、気候変動に伴う自然災害や健康被害の発生リスクも増大しており、適応策の推進も急務となっています。

このプロジェクトでは、省エネルギー・再生可能エネルギーの推進がまちの防災・減災にも寄与することを踏まえ、これらに関連づけて啓発することで、市民、事業者の意識の向上を図り、脱炭素のまちづくりを着実に進めていくことを目指します。

#### ○ プロジェクト内容

事業所・住宅における既存設備について、省エネルギー機器等への転換や省エネルギー住宅・ビル等の改修について、啓発に努めるとともに、支援を行います。また、太陽光発電システムを中心に導入支援を継続するとともに、防災・減災に寄与する自立・分散型エネルギーの啓発に努めます。

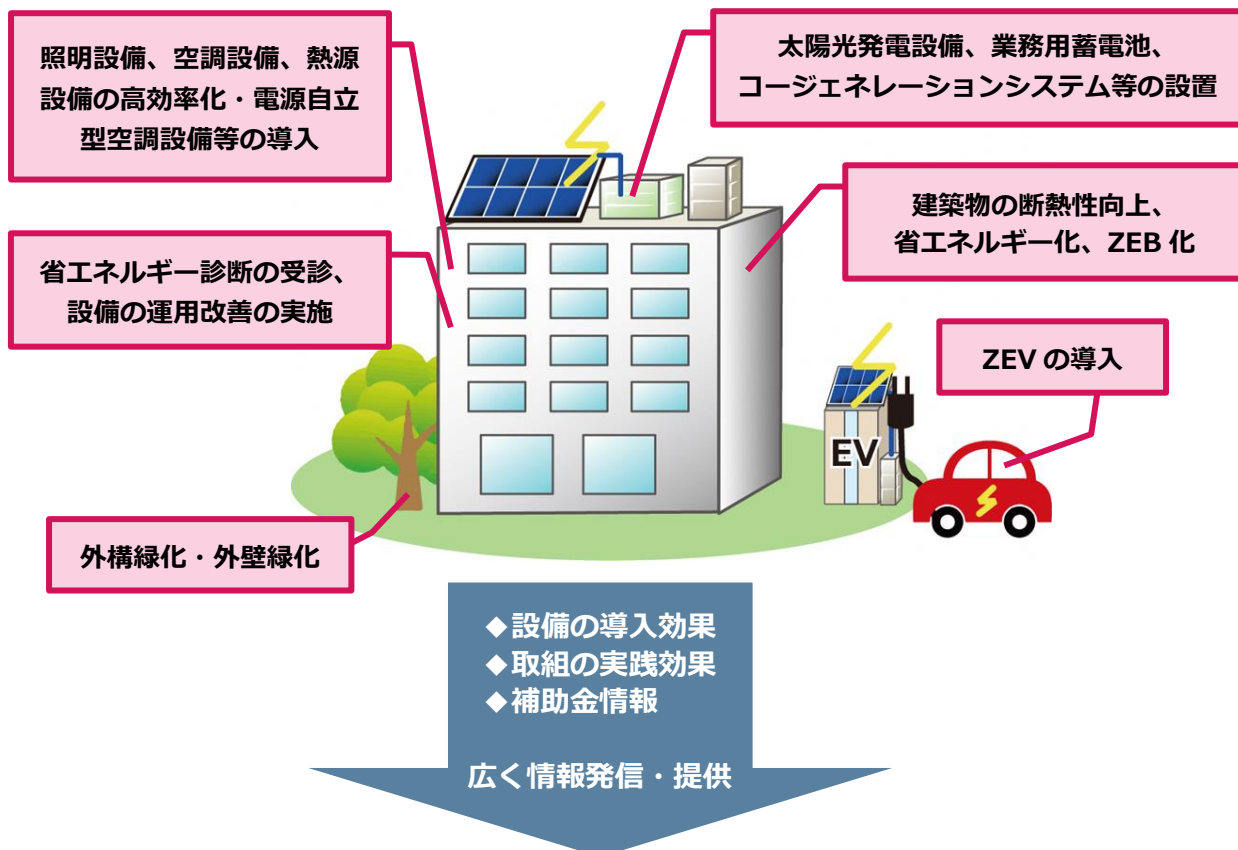
なお、公共施設においては、避難所等防災拠点として指定した施設への太陽光発電システム等の導入について優先的かつ積極的に取り組むとともに、コージェネレーションシステム、電気自動車（EV）、蓄電池等を活用した災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの構築を進めるなど、市民、事業者の規範となるよう率先して実行します。

#### ○ 関連する基本施策

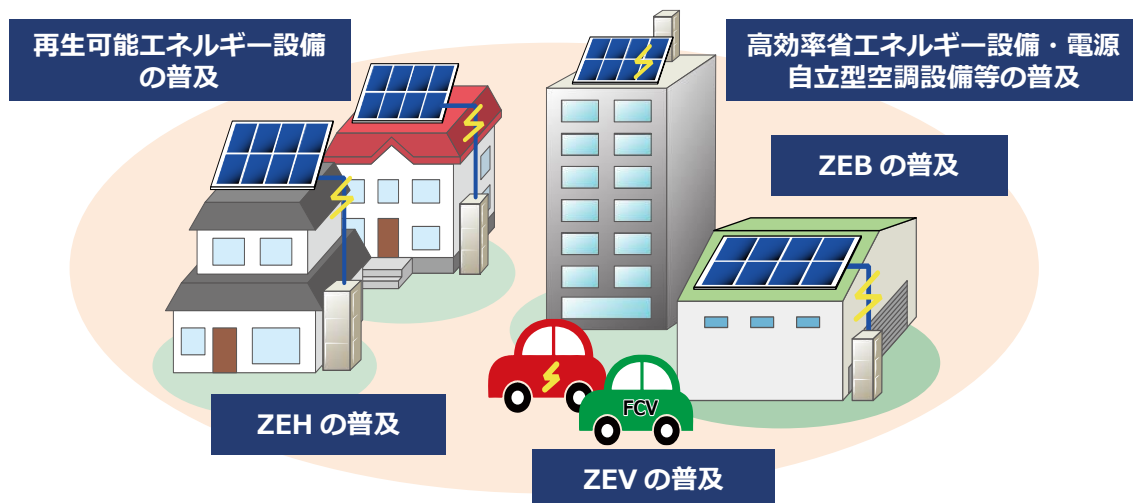
- 再生可能エネルギーの適切な導入の促進 【P.36 基本施策 1-1 (1)】
- スマートコミュニティの推進 【P.39 基本施策 1-3 (3)】
- 気候変動に適應したまちづくりの推進 【P.65 基本施策 4-3 (1)】

## 事業展開のイメージ図

取組モデルとして、  
避難所等防災拠点となる公共施設の省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入



防災・減災につながる脱炭素のまちづくりを拡大



## 2-2 食品ロスもったいない行動

### ○ プロジェクトの目的

本来食べられるにもかかわらず捨てられている「食品ロス」問題は、毎日の生活に密接した問題であるとともに、日本においては、SDGs の目標も踏まえ、食品関連事業者や家庭から排出される食品ロスについて、平成 12（2000）年度比で令和 12（2030）年度までに半減させることを目標にする等の対策が求められています。

このプロジェクトでは、市民・事業者・行政それぞれの役割を明確にし、行動変容を起こすための啓発や仕組みづくりを検討することで、食品ロスの削減と市のごみ排出量の削減を目指します。

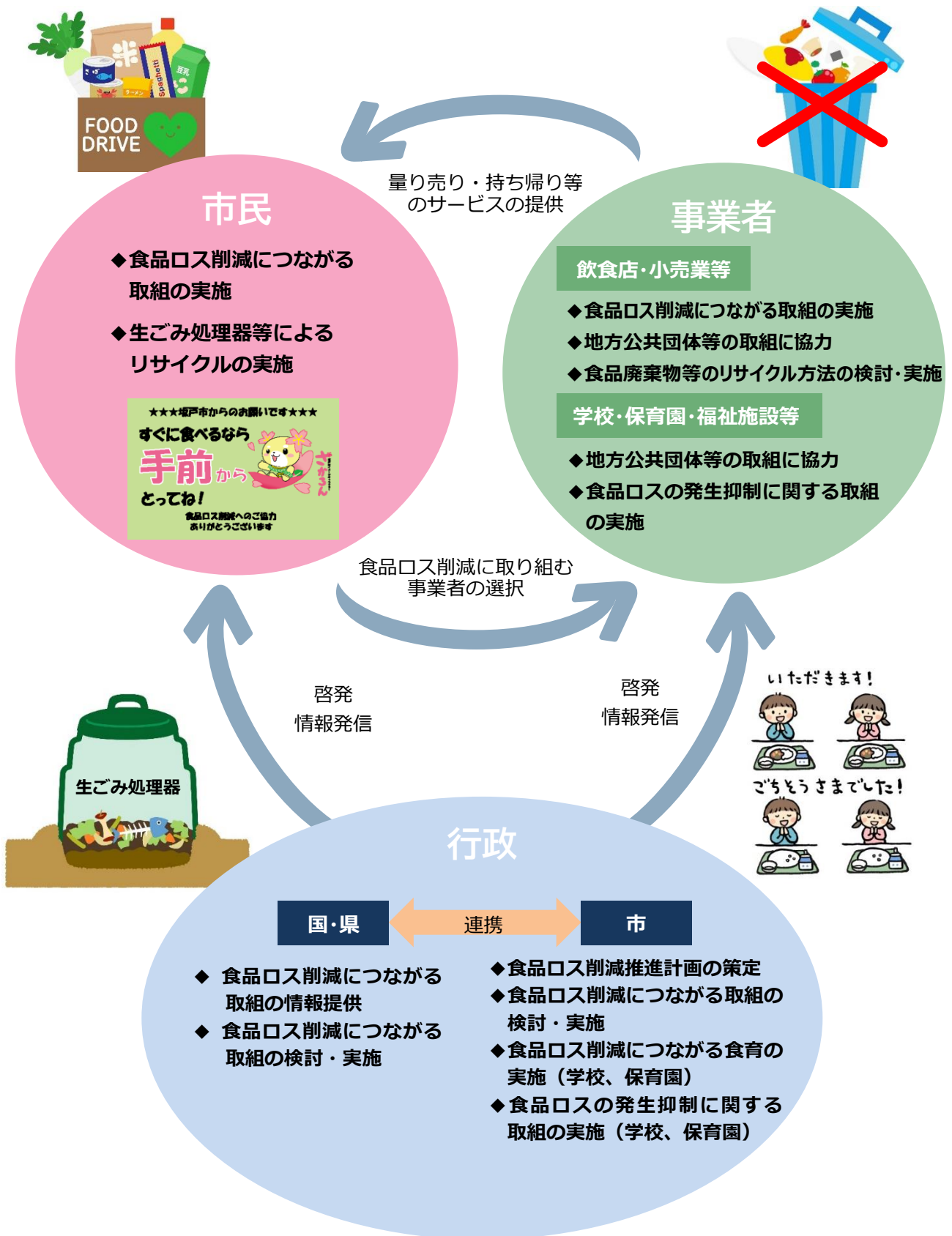
### ○ プロジェクト内容

家庭や事業者（飲食店・小売業等）から発生する食品ロスの実態把握に努めるとともに、食品ロス削減推進計画を策定し、フードドライブやフードバンク等の推進を含め、具体的な削減方策を検討します。また、食品ロスの発生抑制につながる取組の情報発信を行うとともに、発生した食品ロスについては、家庭に対しては生ごみ処理器等によるリサイクルを更に推進し、事業者に対してはリサイクル方法の啓発を実施します。

### ○ 関連する基本施策

- 食品ロス削減の推進 【P.45 基本施策 2-1（2）】
- 学校における環境教育の充実 【P.70 基本施策 5-1（1）】

事業展開のイメージ図



## 2-3 さかど生きもの大調査

### ○ プロジェクトの目的

市内の豊かな自然や生物多様性の保全には、生きものの生息・生育状況や分布状況の現状把握が欠かせません。

このプロジェクトでは、児童・生徒を含む市民や各種団体の協力を得ながら、市内に生息・生育する動植物の情報を継続的に募り、指標動植物をはじめとする生きものの市内の生育・生息状況、分布状況の把握を目指します。

また、希少動植物の生息・生育を支える湧水の調査を合わせて行います。

### ○ プロジェクト内容

調査対象となる動植物を写真入りで紹介した「生きもの調査ガイドブック」を作成し、広く公表・配布することで市内の生物多様性について周知します。

また、そのガイドブックをもとに、日常生活の中で発見した動植物の日時・場所、写真等の情報を報告いただきます。

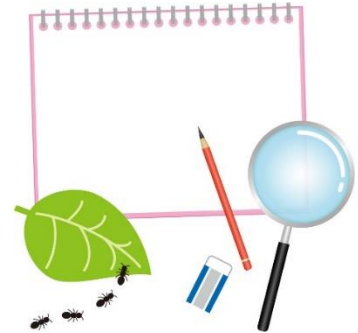
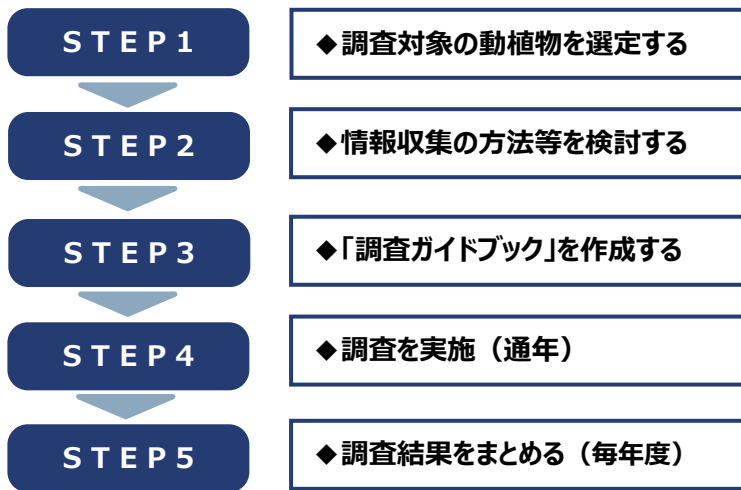
報告された情報を取りまとめ、学校教材、自然観察講座等の資料として活用するほか、希少動植物の保全対策、外来種対策等にも活用します。

合わせて、市内の湧水の調査を行い、湧水の水量等の継続的な調査により水循環の状況把握に努め、その保全策の検討を進めます。

### ○ 関連する基本施策

- 水辺空間の保全と水循環の再生 【P.50 基本施策 3-1 (1)】
- 生物多様性の保全と普及啓発の推進 【P.52 基本施策 3-2 (1)】
- 動植物の生息・生育環境の保全 【P.52 基本施策 3-2 (2)】

## 事業展開のイメージ図



## 事業展開の役割分担

